

高病原性鳥インフルエンザの侵入防止対策の重点事項

1 野鳥・野生動物の鶏舎内への侵入防止

高病原性鳥インフルエンザウイルスは、カモ、ハクチョウ等の水きん類にも感染します。さらに、このようなカモ等を捕食した猛きん類が保有していることも考えられます。

このような、野鳥(スズメ、カラス等)等の野生動物が鶏舎内へ高病原性鳥インフルエンザウイルスを持込む可能性があります。このため、野鳥・野生動物による高病原性鳥インフルエンザウイルスの侵入を防止する必要があります。

<ポイント>

鶏舎には2cm角以下の網目の防鳥ネットを張りましょう。

その張り方は、上から覆うように、ゆったりと垂らすように張り、屋根と柱の境等の小さな間隙を塞ぎましょう。

また、防鳥ネットの破損が見つかったら、直ちに補修しましょう。



家きん舎全体を覆う防鳥ネット



網目2cm以上のネットを二重にしている例



幅の狭い金網で小型鳥類の侵入を防止している例

2 農場周囲への消石灰散布

農場周囲への消石灰散布は、①高病原性鳥インフルエンザウイルスに対する消毒効果とともに、②ネズミなどの野生動物に忌避効果がある(いやがって近寄らない)、また、ネズミなどの野生動物が侵入したかどうか、またどこから侵入したのかが足跡等でわかりやすくなります。

このため、定期的に農場敷地周縁・鶏舎周囲、農場内道路に2～3m幅で一面に白く覆うように撒くことが重要です。

<ポイント>

鶏舎周辺及び農場敷地周縁へ定期的に2～3m幅で消石灰を散布しましょう。また、農場内道路にも消石灰等を散布しましょう。



農場敷地周縁への消石灰散布と路面への消毒液散布



鶏舎周囲の消石灰散布